

統合新校の「魅力ある学校づくり」のための事例

(1) 少人数規模をベースとする学級経営・学習活動	
① 低学年を中心とする複数担任制に向けた人的配置	－副担任制、講師の加配
② 通年での習熟度別少人数指導の実施	
③ ピアティーチャーの充実配置	
④ 教員研修の充実	
(2) 特別支援の更なる充実	
① 特別支援学級（固定学級）の新設	
② 特別支援教育の強化・推進	－相談業務の強化、特別支援員の増補
(3) 連携教育の推進	
① 小中一貫教育を視野に入れた教育課程の編成と実施	－小中一貫校、小中連携による英語教育活動の展開
② 幼小連携の取り入れや、幼保連携と結びつけた教育課程の編成	
(4) 国際理解教育の推進	
① 学外の社会教育機関とのコラボレーション	－多摩市国際交流センター
② 日本語教室の設置	
(5) 新規施設・設備の設置による新たな体験学習	
① 『キッザニア』（模擬施設による就労・経済活動体験）の学校版施設	
② 豊かな自然環境を活かし強化した校内動植物園やビオトープの設置	
③ 果樹や野菜、樹木といった本格的な園芸活動（教科と連携）	－食育、情操教育、医食同源
④ 野鳥観察のための設備	
(6) 通学路の安全確保	
① 通学路の安全整備（木の剪定・伐採等）	
② セーフティ教室の充実	－「地域安全マップ」指導
③ 地域の見守りサポーターの拡充	
④ 「子ども110番」の拡充	
(7) 地域による学校支援の仕組みづくり	
① 地域コーディネーターの育成と設置	
② 「学びサポーター」（仮称）による支援体制づくり	
③ 新規種目の部活動の強化と連携	－ハンドボール部、体操クラブなど
④ 「ようこそ先輩」事業（地元出身の活躍している人材による出前授業やGT）	
⑤ 放課後の居場所づくり事業	－学童クラブや児童館との連携、図書館の活用
	－放課後、子どもたちが校庭・体育館で遊ぶのを見守るなどの人的配置
⑥ 「あいさつ運動」の更なる普及	
⑦ 地元固有の文化・歴史的活動のクラブ化	－太鼓、踊り

◎ 新教育課程や児童の心や情操面に寄与する施設整備 ～大規模改修に伴う整備例～

- ・校庭緑化（芝生化）
- ・保育施設や老人施設との複合化
- ・オープンスペース
- ・エコ発電
- ・図書館設備の充実
- ・充実した ICT 施設・機器の設置
- ・ランチルーム
- ・静寂で落ち着きのある相談室
- ・PTA室（地域交流／学校への地域参加・支援）
- ・ラウンジ
- ・児童更衣室
- ・カウンセリングスペースのある保健室

《 但し書き 》

- 1) これらは、統合新校づくりを進めるとなった場合に、可能性のある設備・配置の工夫の事例です。
…*これらのすべてを、同時に満たそうという話ではありません。
…*これらは、実際に他地域で行われている、あるいは、計画案として挙がる事例です。
- 2) これらを手がかりに統合新校案を考えるとすれば、①②のように考えていただければと考えます。

- ① どのような学校像を期待するのか
- ② そのためには、事例に見るようななかから、どの要素を重視すべきだと考えるのか
（*愛宕地区の子どもたちの現状と課題に応えられること、将来の学校選びに効くこと）

その際に考え合わせるべき要点として、次の2点は挙げておきたいところです。

- | | |
|---------------|---|
| A 特色としてのふさわしさ | ⎧ A-1 “愛宕地区ならでは” であること
A-2 幸い他校・他地域では未着手・手薄であること |
| B 経済性 | |